

 住友金属鉱山株式会社

証券コード 5713

第90期 中間報告書

2014年4月1日－2014年9月30日

株主のみなさまへ



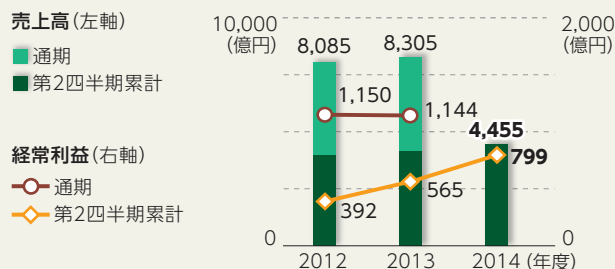
業績ハイライト

売上高

4,455億円

経常利益

799億円

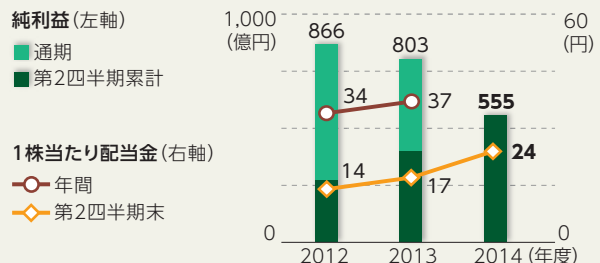


純利益

555億円

1株当たり配当金

24.0円



Top Message

株主のみなさまには、
平素より格別のご支援を賜り、
厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第90期 上半期
(2014年4月1日から2014年9月30日まで)
のご報告を申し上げます。



代表取締役社長

中里 佳明

目次

Top Message	1
業績ハイライト	3
SMMとメタルのちから 特集1 シエラゴルダプロジェクト 開山式	5
特集2 電池材料	7
トピックス	10
連結財務諸表(要約)	11
会社情報	13
株式状況	13
株式メモ	14

2014年度上半期(第1・第2四半期合計) の業績について

円安が進行したことなどにより、 経常利益は前年度下半期(第3・第4四半期合計) と比べ増益となりました。

当上半期の世界経済は、欧州経済は停滞感が強まり、また中国では成長ペースの鈍化がみられたものの、米国では個人消費や住宅投資が好調であったことなどから、総じて緩やかな回復傾向となりました。

非鉄金属価格については、インドネシアの鉱石輸出規制によりニッケル鉱石の供給懸念が発生し、ニッケル価格は上昇基調となりましたが、期末にかけては下落しています。銅価格、金価格は小幅な値動きとなりました。また期末にかけ、円安が進行しました。

材料事業の関連業界では、電気自動車向け電池の需要は引き続き拡大しました。またスマートフォン向け材料は引き続き好調を維持しました。

このようななか、当上半期(2014年4月～9月)の売上高は、前年度下半期(2013年10月～2014年3月)と比べ7%増加し、4,455億円となりました。利益面でも円安による加工収入の増加に加え為替差益、在庫評価益が発生し好転しました。営業利益は、前年度下半期と比べ59%増加し553億円となりました。経常利益では38%増加の799億円、純利益は38%増加の555億円となりました。(前年度上半期との比較はP11をご覧ください)

2012年中期経営計画(12中計)の進捗状況

プロジェクトは順調に進捗しています。

フィリピン・ミンダナオ島でニッケル中間原料を生産するタガニートプロジェクトについては2013年後半から生産を開始し、2014年春以降はフル生産体制に入りました。

シエラゴルドプロジェクト(チリ)では、10月1日にチリ共和国大統領にご列席いただき開山式を挙行了しました。

材料事業においては、電気自動車向けの電池材料であるニッケル酸リチウムの増産を行っています。昨年9月に月産300トンから850トンに引き上げる投資を決定し、今年6月に予定通り完了しました。さらに需要拡大を受け、今年10月にはこれを1,850トンへと増産する投資を決定しています。

配当方針について

年間配当性向は25%以上とします。

12中計期間の配当性向は25%以上とし、業績に連動した配当を実施する方針としています。当中間期の配当は24円/株とさせていただきます。この金額は当社の半期配当としては過去最高額となります。

株主のみなさまへのメッセージ

今後も成長戦略を着実に推進し、 企業価値のさらなる向上をめざしていきます。

12中計で推進してきたタガニートプロジェクトが利益に大きく貢献をはじめました。引き続き12中計で掲げた戦略、そして各プロジェクトを着実に推進し事業規模を拡大していくことにより、さらなる企業価値の向上をめざしていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

業績ハイライト

資源セグメント

当期業績概要について

- 菱刈鉱山の操業は順調に推移し、上半期の金の生産量は3.4トンとなりました。
- ポゴ金鉱山の生産は計画通り推移しています。上半期の金の生産量は5.1トンとなりました。
- 海外銅鉱山では、モレンシー銅鉱山の拡張プロジェクトがほぼ完了し、増産体制に入りました。セロベルデ銅鉱山の生産は計画通り推移しています。

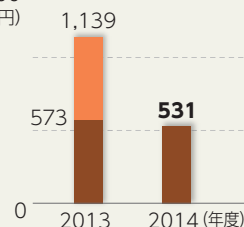
今後の展望

- 銅では、シエラゴールドプロジェクトの工事が完了し、銅精鉱の生産を開始しました。今後フル生産体制をめざしていきます。
- 金では、菱刈鉱山・ポゴ金鉱山の安定した操業に努めていくとともに、探鉱活動を進めていきます。

■ 通期 ■ 第2四半期累計

売上高

1,500
(億円)



製錬セグメント

当期業績概要について

- 銅製錬では、東予工場の生産は順調に推移しました。
- ニッケル製錬では、タガニートプロジェクトがフル生産に移行しました。またこれを受け、ニッケル工場の生産量も増加しています。

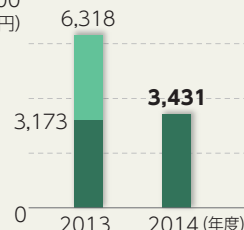
今後の展望

- 銅製錬では、コスト競争力の強化をはかっていきます。
- ニッケル製錬では、引き続きタガニートプロジェクトの安定操業に努めるとともに、目標としてきた年産10万トンを着実にこなしていきます。

■ 通期 ■ 第2四半期累計

売上高

8,000
(億円)



材料セグメント

当期業績概要について

- 電池材料は、電気自動車向け需要が好調だったことから、販売が増加しました。
- リードフレーム、ペースト、結晶材料は、スマートフォンやタブレット端末向けの販売が好調でした。

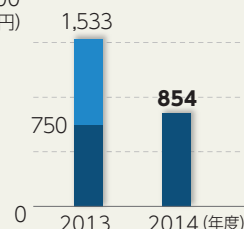
今後の展望

- 電池材料は、電気自動車向けニッケル酸リチウムの増産を進めていきます(P7~もご覧ください)。
- 引き続きお客様との連携による技術力・製品開発力の向上をめざしていきます。

■ 通期 ■ 第2四半期累計

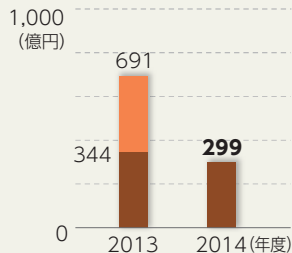
売上高

2,000
(億円)



注) セグメント間の取引が発生しており、当社の売上高として公表している数値はこれを消去した外部売上高の合計です。各事業の売上高、セグメント利益はセグメント間取引を消去す

セグメント利益



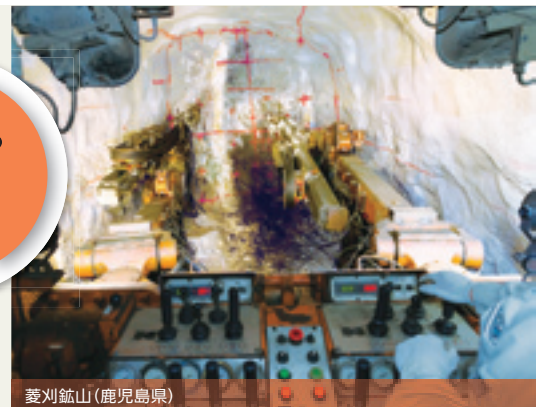
第2四半期累計

セグメント利益 構成比

41.7 %

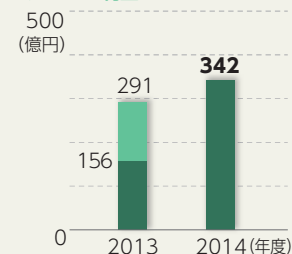
セグメント利益

298億79百万円



菱刈鉱山(鹿児島県)

セグメント利益



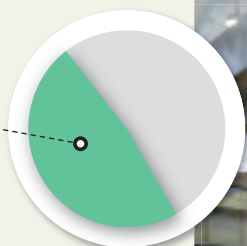
第2四半期累計

セグメント利益 構成比

47.7 %

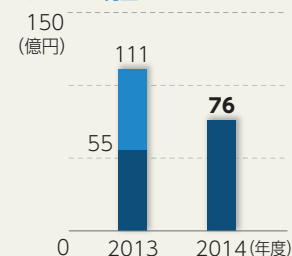
セグメント利益

341億95百万円



東予工場(愛媛県)

セグメント利益



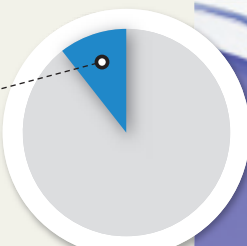
第2四半期累計

セグメント利益 構成比

10.6 %

セグメント利益

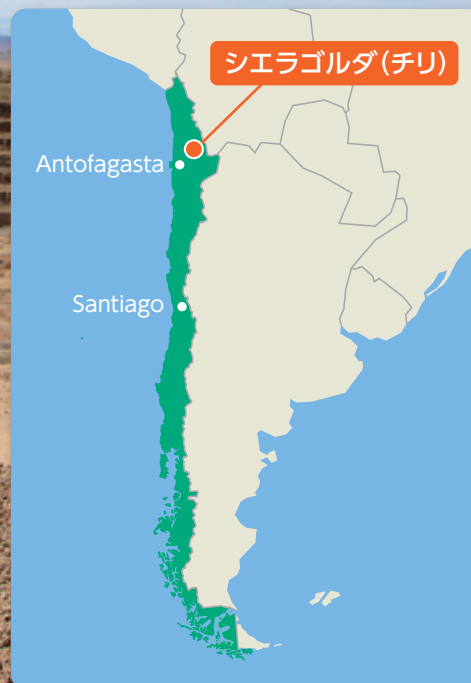
76億37百万円



厚膜ペースト

る前の金額を表記しております。セグメント利益構成比は、3セグメント合計に対する比率を表記しております。

特集1 シエラゴルダプロジェクト 開山式



シエラゴルダ銅鉱山(チリ)

2011年に参画を決定し、開発が進められてきたシエラゴルダ銅鉱山の工事が完了。 現地鉱山サイトにおいて開山式が開催されました。

シエラゴルダ銅鉱山はチリ北部、第Ⅱ州の州都アントファガスタ市から約140kmに位置しています。当社は2011年に開発プロジェクトに参画し、ポーランドのKGHM社、住友商事株式会社と共同で鉱山の開発を進めてきました。

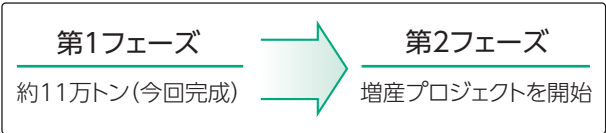
2014年10月1日の開山式には、チリ共和国のパチェレ大統領をはじめとする政府関係者、ポーランド・日本政府関係者など約1,000名が参加し、開山を祝いました。

これに続き、10月末には最初の銅精鉱を積んだ船が東予工場（愛媛県）に向けて出港しました。当社は本鉱山で生産される銅精鉱の50%の引き取り権を有しており、日本の銅資源の安定確保につながります。

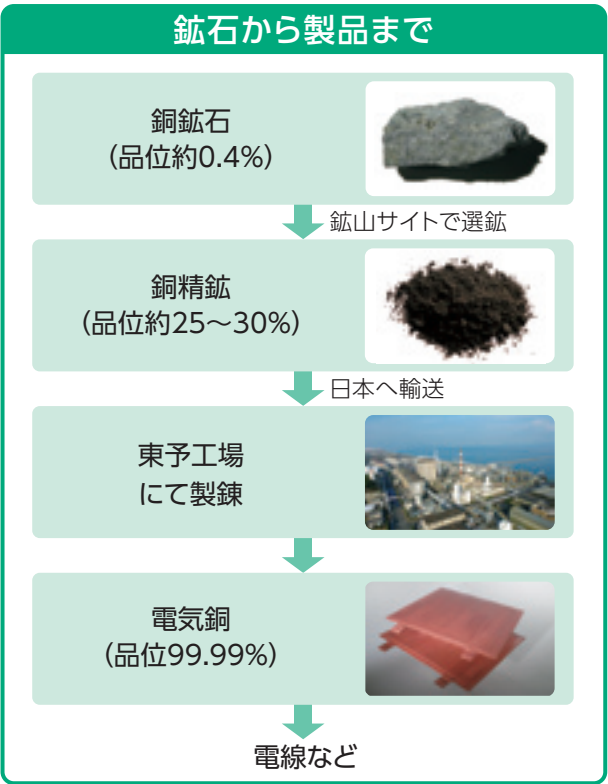
出資比率

KGHM社（ポーランド）	55%
当社	31.5%
住友商事株式会社	13.5%

生産能力（銅量換算）



開山式の様子



シエラゴルダ銅鉱山選鉱プラント

特集2 電池材料



磯浦工場

SMM材料事業の中核製品である電池材料。
今回は電池材料事業の成長戦略についてご

SMMの電池材料

当社では車載用二次電池の正極材として使われる水酸化ニッケル、ニッケル酸リチウムを生産しています。水酸化ニッケルはニッケル水素電池に使用されており、主要なお客様はトヨタ自動車株式会社です。またニッケル酸リチウムはリチウムイオン電池に使用され、主要なお客様はパナソニック株式会社です。

製品の流れ



※太字が当社製品

ハイブリッド自動車や電気自動車の市場拡大にともない、需要が大きく伸びています。
紹介いたします。

電池材料の増産

当社は拡大する需要に対して、ニッケル酸リチウムの増産を決定しています。これにより、生産量は現在の850トン/月から1,850トン/月に増加します。

磯浦工場

水酸化ニッケルとニッケル酸リチウムの生産を行う磯浦工場(愛媛県新居浜市)では、ニッケル酸リチウムの生産設備の増強を行います。新たな生産設備は2015年12月に完成する予定です。



磯浦工場外観



製造風景

住鋳エナジーマテリアル

福島県双葉郡楢葉町に、新たに設立した住鋳エナジーマテリアル株式会社(当社の100%子会社)が工場を設置し、ニッケル酸リチウムの一部製造工程を移管します。工事の完成は、磯浦工場と同じく2015年12月を予定しています。



工場外観



新拠点設立の記者会見

電池材料の主な原料は、SMMのニッケル工場と播磨事業所で生産される硫酸ニッケルです。

播磨事業所での硫酸ニッケルの増産

今年1月より硫酸ニッケルの生産を開始した播磨事業所ですが、さらなる硫酸ニッケルの増産に対応するため、生産設備の増強を行う予定です。工事は2016年10月に完成予定で、播磨事業所の硫酸ニッケル生産能力は現在の年産20,000トンから年産45,000トンとなります。

これにより当社の硫酸ニッケルの年間生産能力は、ニッケル工場の25,000トンとあわせて70,000トンとなります。当社はニッケル原料鉱石から製錬・加工までを一貫して手掛けており、総合的な安定供給が強みとなります。

硫酸ニッケル

播磨事業所(兵庫県加古郡播磨町)



播磨事業所外観



製造風景

トピックス 住友金属鉱山の今がわかる、注目トピックスを時系列にまとめご紹介します。

2014年 3月

6月

9月

12月

「証券アナリストによる ディスクロージャー優良企業選定 (鉄鋼・非鉄金属部門)」で第1位を獲得

当社は、平成26年度「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、鉄鋼・非鉄金属部門で第1位の優良企業に選ばれ、10月10日に表彰を受けました。これは4年連続の受賞となります。

この選定は、公益社団法人日本証券アナリスト協会が企業情報開示の促進・向上を目的として平成7年度から開始し、今回で20回目です。選定にあたっては、各業種の証券アナリストが情報開示等に関する5項目について評価し、優良企業を選定します。

当社は、鉄鋼・非鉄金属部門の対象14社の中で、5項目中4項目において部門内第1位という高い評価を獲得しました。



ディスクロージャー優良企業表彰式

四阪島と国富の 大煙突をしのぶ記念碑が完成

当社は、老朽化により解体された四阪島(愛媛県今治市)と国富(北海道岩内郡共和町)の大煙突の存在を伝える記念碑をそれぞれ建設しました。

四阪島の大煙突は、住友の公害克服の歴史の象徴というべき存在でした。住友では1905年、銅製錬による煙害を防ぐために銅製錬所を瀬戸内海の離島である四阪島に移転しました。その後、1924年に建てられた3代目の煙突は、1939年には公害克服とともに使われなくなりましたが、その後も周辺海域からのシンボリック的存在となっていました。しかしながら老朽化が激しく耐震性に問題があるため、昨年解体しました。今回、その記念碑として愛媛県新居浜市内に、大煙突の模型と歌碑が建てられています。

一方、国富の大煙突は1944年に建設され、国富鉱山で採掘した銅や鉛の鉱石の製錬所で使われていました。こちらも使われなくなった後、地域のシンボリック的存在でしたが昨年解体されています。11月1日には記念モニュメントの完成を記念して、式典を開催しました。



四阪島大煙突の記念碑

CSR報告書2014が 発行されました

当社の具体的なCSR活動の内容を発信する、CSR報告書の2014年度版が発行されました。当社は「地球および社会との共存」を目標として、様々なCSR活動に取り組んでいます。

住友グループは、400年以上にわたる「住友の事業精神」の実践を積み重ねて、事業を発展させてきました。当社はこの「住友の事業精神」に基づき、「SMMグループ経営理念」「SMMグループ経営ビジョン」を定めていますが、これらに表現されている姿を実現する活動そのものが、住友金属鉱山のCSR(企業の社会的責任)であると考えています。

当社は、2008年に決定した重点的に取り組む6つの分野で2020年のありたい姿をめざして、CSR活動を行っています。CSR報告書の詳しい内容は当社ホームページからご覧ください。

当社ホームページアドレス
<http://www.smm.co.jp/>



連結財務諸表(要約)

当上半期(2014年4月～9月)の売上高は、主に円安の影響により前年同期間(2013年4月～9月)に比べ295億円増加し、4,455億円となりました。

営業利益については主に円安と、これに伴う在庫評価益の発生により、前年同期間と比べ146億円増加の553億円となりました。

経常利益では、円安により為替差益が好転したこと、および持分法投資利益が好転したことにより、前年同期間と比べ233億円増加し799億円となりました。

純利益は前年同期間と比べ154億円増加し、555億円となりました。

売上高

4,455億円
前年同期間比7.1%増

経常利益

799億円
前年同期間比41.2%増

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

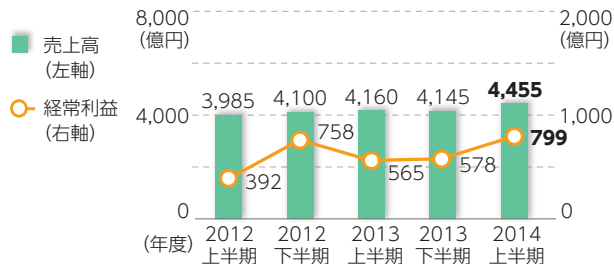
	当第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高	445,470	416,014
売上原価	367,088	352,128
売上総利益	78,382	63,886
販売費及び一般管理費	23,095	23,184
営業利益	55,287	40,702
営業外収益	27,660	18,361
営業外費用	3,090	2,525
経常利益	79,857	56,538
特別利益	54	119
特別損失	239	662
税金等調整前四半期純利益	79,672	55,995
法人税等合計	19,262	13,308
少数株主利益	4,958	2,663
四半期純利益	55,452	40,024

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

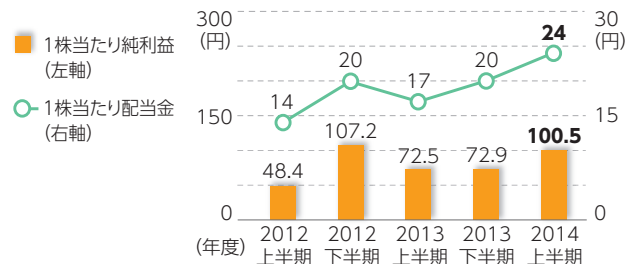
(単位:百万円)

	当第2四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,508	37,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50,978	△ 72,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,850	12,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,337	6,878
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 23,657	△ 15,506
現金及び現金同等物の期首残高	202,583	239,691
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	19
現金及び現金同等物の四半期末残高	178,926	224,204

売上高／経常利益



1株当たり純利益／1株当たり配当金



当上半期末の資産は、前期末(2014年3月末)と比べ171億円増加し、1兆5,895億円となりました。

負債は、前期末に比べ34億円減少し、5,499億円となりました。

純資産については、純利益の計上により株主資本が増加しました。自己資本比率は58.9%と引き続き健全な財務体質を維持しています。

総資産

15,895 億円

前期末(2014年3月末)比1.1%増

自己資本

9,362 億円

前期末(2014年3月末)比2.5%増

四半期連結貸借対照表

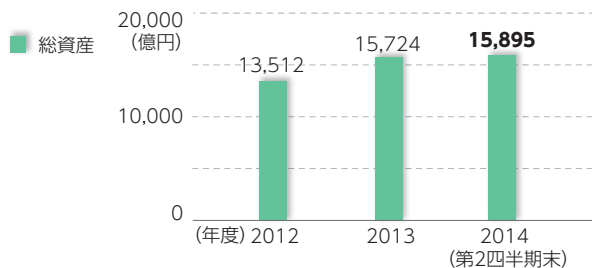
(単位:百万円)

当第2四半期末
2014年9月30日

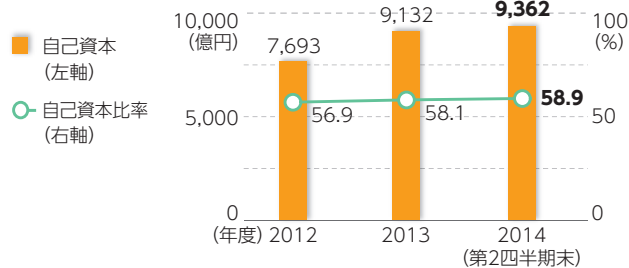
前期末
2014年3月31日

資産の部		
流動資産	558,684	537,961
固定資産	1,030,808	1,034,406
有形固定資産	406,797	415,773
無形固定資産	9,918	11,097
投資その他の資産	614,093	607,536
資産合計	1,589,492	1,572,367
負債の部		
流動負債	227,560	223,763
固定負債	322,346	329,551
負債合計	549,906	553,314
純資産の部		
株主資本	894,211	852,150
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,065	86,062
利益剰余金	747,600	704,824
自己株式	△ 32,696	△ 31,978
その他の包括利益累計額	41,989	61,021
少数株主持分	103,386	105,882
純資産合計	1,039,586	1,019,053
負債純資産合計	1,589,492	1,572,367

総資産



自己資本／自己資本比率



会社情報

会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	住友金属鉱山株式会社 Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.
本社所在地	東京都港区新橋五丁目11番3号
創業	天正18年(1590年)
設立	昭和25年(1950年)
資本金	932億円
従業員数	連結：8,770名 単独：2,080名

取締役および監査役

(2014年9月30日現在)

取締役会長	家守 伸正*
取締役社長	中里 佳明*
取締役	久保田 毅 土田 直行 緒方 幹信 後根 則文 野崎 明
社外取締役	牛嶋 勉
常任監査役 (常勤)	中重 一雄
監査役 (常勤)	佐藤 元
社外監査役	三和 彦幸 野崎 茂

注 *印は、代表取締役です。

執行役員

(2014年9月30日現在)

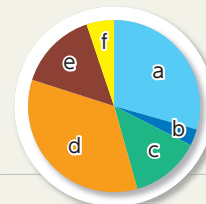
社長	中里 佳明
専務執行役員	久保田 毅 土田 直行
常務執行役員	伊藤 敬 橋本 安司 緒方 幹信 飯島 亨 後根 則文 黒川 晴正
執行役員	杉浦 卓 小田 浩久 角谷 博樹 浅井 宏行 山際 雅幸 森本 雅裕 野崎 明 今村 正樹 朝日 弘 井手上 敦 猪野 和志

株式状況

株式の状況 (2014年9月30日現在)

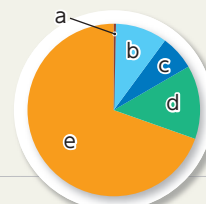
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	581,628,031株
株主数	42,472名

株式分布状況 (2014年9月30日現在)



所有者別の状況

区分	所有株数(株)	(%)
a 金融機関	170,979,526	29.39
b 証券会社	18,278,051	3.14
c その他の法人	76,109,778	13.08
d 外国法人等	199,677,556	34.33
e 個人その他	86,666,968	14.90
f 自己名義株式	29,916,152	5.14



所有株式数別の状況

区分	所有株数(株)	(%)
a 1～999	1,829,408	0.31
b 1,000～9,999	56,795,893	9.76
c 10,000～99,999	37,889,265	6.51
d 100,000～999,999	80,260,536	13.80
e 1,000,000～	404,852,929	69.60

株式メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主総会

定時株主総会 毎年6月
臨時株主総会 必要の都度

基準日

定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

株主名簿管理人および特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
0120-782-031

公告掲載方法

電子公告とする。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載する。

株式に関するお届けおよびご照会先

証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社宛に、特別口座に口座がある株主様は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社証券代行部までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

単元未満株式買取および買増のご請求について

株主様がご所有の単元未満株式(1~999株)を当社が買取らせていただく制度がございます。また、株主様がご所有の単元未満株式を単元株式とするため、必要な数の株式を買増する制度がございます。単元未満株式の買取および買増請求につきましては、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口において配当金領収証と引換えにお受け取りいただく方法のほかに、より安全で確実な方法として、ご指定の銀行口座またはゆうちょ銀行の貯金口座へ継続的にお振り込みする方法がございます。また、証券会社に口座を開設されている場合は、証券総合口座等へのお振り込みも可能です。お振り込みをご希望される場合は、上記「株式に関するお届けおよびご照会先」にお問い合わせのうえ、お手続きをお願いいたします。

当社ホームページのご案内

ホームページでも、投資家情報をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

<http://www.smm.co.jp/>



当冊子についてのお問合せ先

 **住友金属鉱山株式会社** 広報IR部

〒105-8716 東京都港区新橋5丁目11番3号
TEL.03-3436-7705 FAX.03-3434-2215

